

環境経営レポート

株式会社大和生物研究所

2023 年度 第13期

(対象期間 2023 年4月1日～ 2024 年3月31日)



OTC医薬品普及啓発イベント



環境省
エコアクション21
認証番号 0009208

発行日： 2024年6月3日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	1
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業・製品の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境及び社会貢献活動の紹介	8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟	13
代表者による全体の評価と見直し・指示	14

ごあいさつ

『自然随順』『自然の理、自然の法則に逆らわないこと』。それが私たちの企業理念です。

私たち株式会社大和生物研究所は「自然との共生」を原点に、「笹」という自然からの恩恵を受け、お客様の健康を支えるものづくりを行ってきました。

近年、SDGsが注目されていることから分かるように、日本でもより環境にやさしいものづくりが問われております。

私たちは、環境・お客様・会社・従業員などのいずれもが利益（幸せ）を享受する自然随順・循環型サイクルを目指し、創業当初より掲げている「ゼロエミッション（廃棄物ゼロ）」をはじめとした、EA21の活動を進めています。



環境経営方針

環境経営理念

株式会社大和生物研究所は、企業理念である『自然随順』（自然の理、自然の法則に逆らわないこと）のもと「ゼロエミッション（廃棄物ゼロ）」をはじめ、循環型の生産サイクルの基での経営を目指します。よってここに環境経営方針を定め、企業理念のもと、クマ笹関連商品の製造・販売・研究開発・竹笹文化の継承、啓蒙活動を通じ、社員一人一人が自主的・積極的に環境負荷低減・循環型社会の実現に取り組みます。

環境経営方針

1. 以下について具体的な環境目標を定め環境活動計画に基づき継続的な改善に努めます。

- 1) 全社的な生産性向上により、環境への負荷を減らすと同時に成果として生み出される価値を高めます。
- 2) 地球環境保全のため、電気及び化石燃料の使用量削減に取り組み維持することで二酸化炭素の排出量を抑制します。
- 3) 循環型社会形成の為、廃棄物の3R（リデュース、リユース、リサイクル）に積極的に取り組みます。
- 4) 節水や水の再利用に努め水資源を有効活用します。
- 5) 化学物質の適正管理を行ないます。
- 6) グリーン購入を推進します。

2. 環境保全に関連する法律・条例・協定・その他要求事項を遵守します。

3. SDGsとエコアクションを統合して、SDGsの目標をエコアクションの目標に紐付けて取り組みます。

4. (株)大和生物研究所/(株)ササヘルス/（一財）蓼科笹類植物園 笹離宮/アグラサーラ協力基金を大和グループとして形成し、大和グループ全体で環境やSDGs、経営の両立を目指して参ります。

5. 環境経営方針を実行し実現するため、全社員及び大和グループ関係者の環境やSDGsに関する理解と意識向上を図るための教育を継続的に実施して参ります。

制定日：2012年7月1日

改定日：2022年7月1日

代表取締役

大島高明

組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社大和生物研究所
代表取締役社長 大泉 高明
- (2) 所在地
事業本部 神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1 KSP D棟 8F
蓼科工場 長野県茅野市玉川字原山 11400-1018
- (3) 環境管理責任者
経営企画室室長 大泉 梓
- (4) 事業内容
クマ笹に関する医薬品、健康食品の製造、販売
- (5) 事業の規模
売上高 500 (百万円)
従業員数 50名
- (6) 事業年度 4月1日～3月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社大和生物研究所
対象事業所： 事業本部
蓼科工場
活動： クマ笹に関する医薬品、健康食品の製造、販売

□事業の紹介

主な製品

※第3類医薬品



ササヘルス

※第2類医薬品



ササスルー



SE-10



クマ笹歯みがき



クマ笹のど飴



ささ塩

※第2類医薬品



モイスチャー
ジェル

笹の恵シリーズ

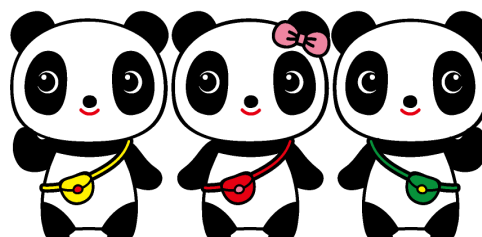
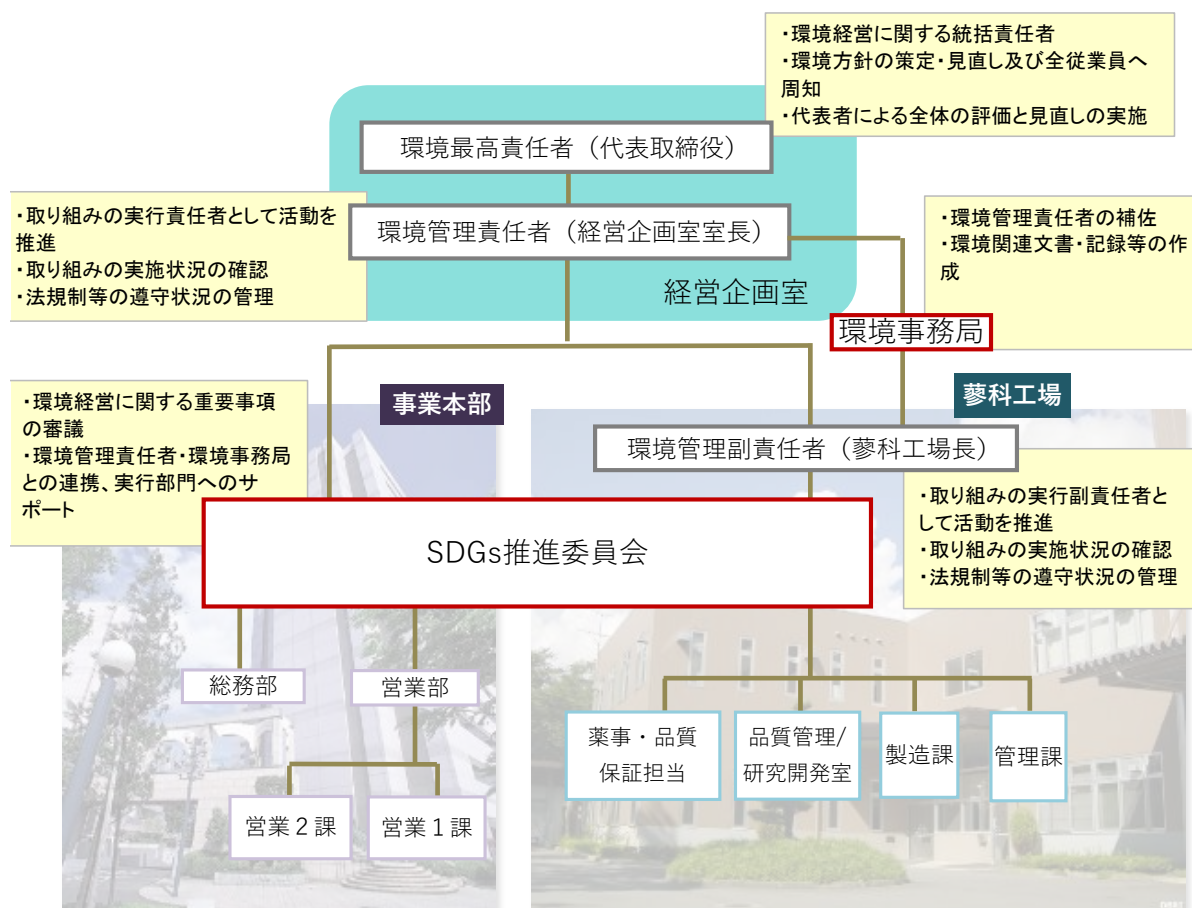


クマ笹
ソフトカプセル



笹の恵シャンプー&
コンディショナー

環境経営組織及び役割・責任・権限



主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	409,188	412,927	365,589
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	m ³	1,724	1,832	1,701
産業廃棄物排出量	kg	74,570	68,980	61,200
水使用量	m ³	20,008	20,277	17,046

※電力の二酸化炭素排出係数（調整後）：テプコカスタマーサービス0.495kg-CO₂/kwh（基準年（2021年）に統一）

環境経営目標及びその実績

年 度		2021年	2023年		評 価	2024年	2025年
項 目		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素	kWh	242,565	237,714	216,791	○	235,288	232,862
	kg-CO ₂	119,536	117,145	95,605	○	115,950	114,755
	基準年度比		98.0%	83.2%		97.0%	96.0%
	原単位	kg-CO ₂ /L	1.063	1.041	×	1.031	1.020
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	279,378	278,819	234,807	○	278,540	278,260
	基準年度比		99.8%	84.0%		99.7%	99.6%
	原単位	kg-CO ₂ /L	212.402	211.977	○	211.764	211.552
	kg-CO ₂	9,828	9,828	10,655	×	9,828	9,828
自動車燃料による二酸化炭素削減	基準年度比		100.0%	108.4%		100.0%	100.0%
	kg-CO ₂	408,743	405,793	341,066		404,318	402,844
上記二酸化炭素排出量合計	kg	143	142	156	×	142	142
	活動期間				○		
	基準年度比		99.0%	109.1%		99.0%	99.0%
	kg	66,870	66,870	61,200	○	66,870	66,870
ササソフト廃棄物の削減	活動期間				○		
	基準年度比		1.000	0.9152		1.000	1.000
	m ³	20,008	19,988	17,046	○	19,968	19,948
	活動期間						
水道水の削減	基準年度比		99.9%	85.2%		99.8%	99.7%
	化学物質の適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	○	適正管理	適正管理

※LPGによる二酸化炭素排出量36kg-CO₂は含まず

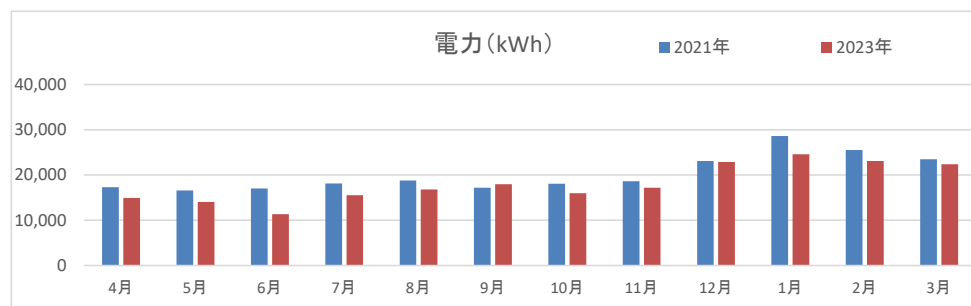


環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標：○達成 ×未達成

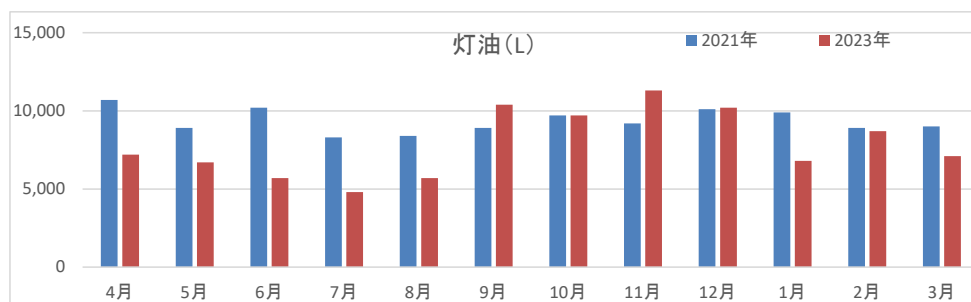
活動：○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・節電意識の徹底、設備の維持管理（継続）	○	年間を通してデマンド値を超えることはなかった。「節電」という意識を常に持ちながら行動出来ており、小さなことでもコツコツと取り組む姿勢が見られた。 【次年度の計画】 ・目標値維持管理 ・デマンド値の維持 引き続き節電への意識を徹底し、電力使用量を減らす取り組みを行う。
・生産のない日は空調を夜間運転モードに切り替え、余分な電力を抑える。	○	
・人が不在の時は部屋の電気を消す	○	
・製造関連機器の稼働効率を上げ、作業時間を短縮して消費電力を削減する	○	



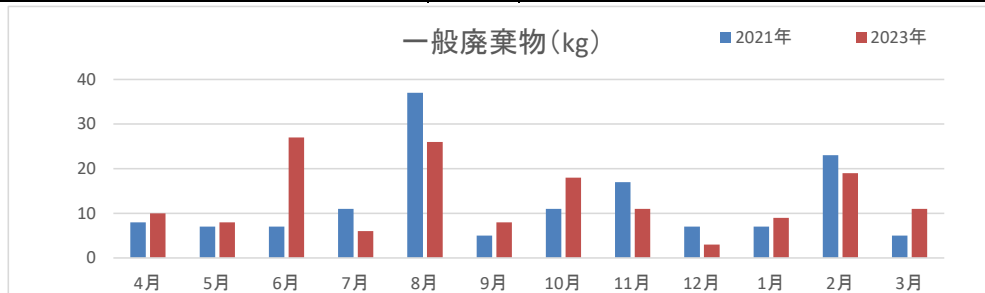
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	17,287	16,607	17,047	18,133	18,816	17,203	18,076	18,657	23,121	28,612	25,513	23,493
2023年	14,950	14,067	11,341	15,525	16,821	17,995	15,970	17,199	22,886	24,575	23,099	22,363

灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	小さなことだがボイラーの運転時間をできるだけ短くした効果が出ている 【次年度の計画】 二酸化炭素排出量削減に向けて灯油の使用料削減が必要。現状でできることは限られているが続けて行く。
原単位目標	○	
・設備の維持管理を行いムダに使用量を増	○	
・抽出作業の見直しによる加熱時間及び温水の使用時間の短縮（記録）	○	
・ボイラーの運転効率をあげる方法を調査	○	



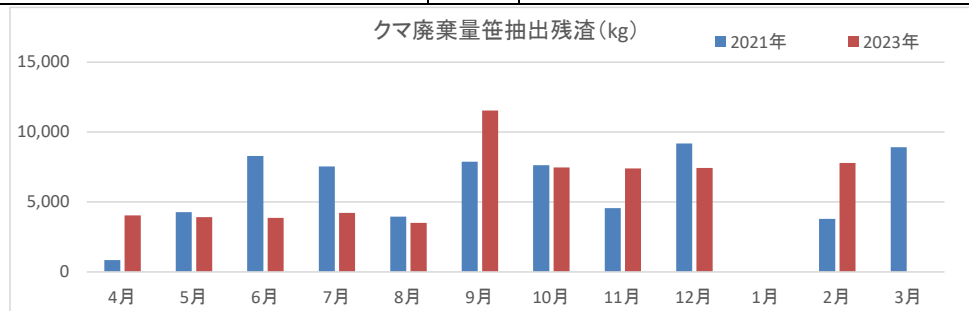
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	10,700	8,900	10,200	8,300	8,400	8,900	9,700	9,200	10,100	9,900	8,900	9,000
2023年	7,200	6,700	5,700	4,800	5,700	10,400	9,700	11,300	10,200	6,800	8,700	7,100

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	- 今年度はイレギュラーな作業が多かったため、製造1Fからの黄手袋等が増えてしまった。 【次年度の計画】 - 目標維持管理 - 維持目標値は本年度の実績数値を採用し、維持管理に務める。
・内訳を記入しイレギュラー排出を明確にする	○	
・ムダな排出や分別間違いがあれば改善指導を行い、適正に管理する	○	



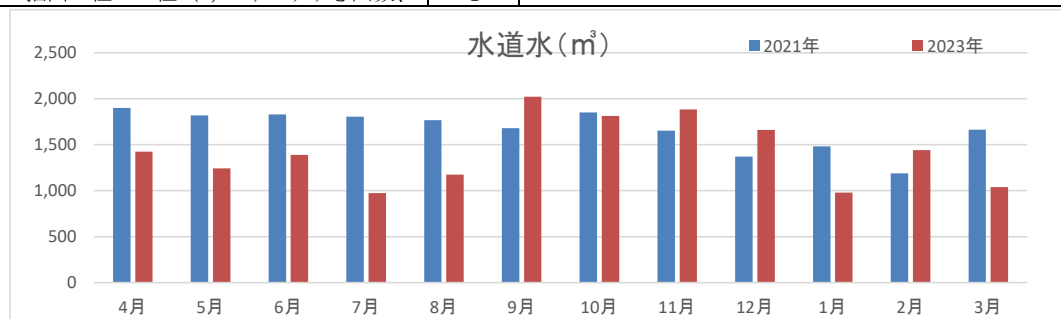
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	8	7	7	11	37	5	11	17	7	7	23	5
2023年	10	8	27	6	26	8	18	11	3	9	19	11

ササソフト廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・有効活用の検討	○	有効活用してくれる業者を探す必要がある。また会社としても新商品開発の一つとしてササソフトの商品化が求められるので、計画中のアルカリを中和して微粉碎して原料等にする
・ろ過工程の改善。脱水機全体をメンテナンスし、現状よりも収率UP図る	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	840	4,270	8,290	7,550	3,950	7,880	7,640	4,560	9,180	0	3,800	8,910
2023年	4,040	3,910	3,860	4,220	3,510	11,550	7,470	7,400	7,440	0	7,800	0

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	- 現状維持できた 【次年度の計画】 - 目標値維持管理 - 再利用水の有効活用の継続 - 引き続き節水の心掛け
・水漏れ箇所の修理	○	
・漏水点検	○	
・清掃作業時の適切水量管理	△	
・抽出工程の工程 (0, 1N) のすぎ回数、	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	1,899	1,819	1,830	1,804	1,768	1,679	1,851	1,654	1,370	1,483	1,188	1,663
2023年	1,426	1,244	1,389	973	1,174	2,023	1,812	1,884	1,661	980	1,441	1,039

環境及び社会貢献活動の紹介（環境教育）



←再利用によってごみをださないことを目指している。



←再生可能な資源(茅)を屋根に
伝統文化を時代にうまく溶け込ませている

環境先進都市 オランダ・アムステルダム市視察

- ・全社会議でSDGs 関連方針を発表（4月、7月、10月、1月）
- ・個人の環境活動「私のSDGs」を全社会議で発表（4月、7月、10月、1月）
- ・長野県EA21オンラインセミナー全4回受講（6/14、7/11、9/12、10/17）
- ・11月：環境先進都市のオランダ・アムステルダム市視察
（環境最高責任者、環境管理責任者）
- ・12月：工場新規採用者1名にSDGs とエコアクション21活動についての研修実施
- ・12/8：エコプロ2023視察 工場社員3名
- ・3/5：カーボン排出量削減成果発表会視聴

環境及び社会貢献活動の紹介（緊急時対応訓練）



事業本部避難訓練



蓼科工場
塩酸漏洩対応訓練



蓼科工場避難訓練

- ・ 8/4：蓼科工場塩酸漏洩対応訓練
- ・ 10/23, 10/27：ボイラー取扱講習会参加1名
- ・ 11/16：事業本部避難訓練
- ・ 11/29：蓼科工場避難訓練

環境及び社会貢献活動の紹介（全社）



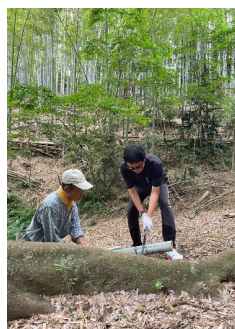
←「ちよいあげ！」アプリ

身近で改善したコトをちょっとあげてみる改善提案共有アプリです。

仕事の中で工夫したことなどを各自で入力します！

小さな改善もあつめれば大きな改善につながり生産性が上がります。

環境及び社会貢献活動の紹介（事業本部）



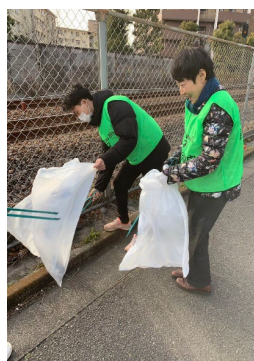
↓「高津区市民健康の森を育てる会」HPで活動が紹介されました！

<https://takatsuku-kenmori.cloud-line.com/blog/2024/09/113362/>

「高津区市民健康の森を育てる会」に参加 竹林整備等の作業への協力



第16回OTC医薬品普及啓発イベントに参加



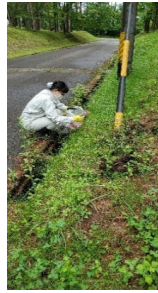
線路脇や線道路沿いの清掃活動参加

- ・「高津区市民健康の森を育てる会」に参加
竹林整備等の作業を支援
- ・線路脇や線道路沿いの清掃活動参加
- ・営業訪問をしない月を設定
- ・10/6、7：「第16回OTC医薬品普及啓発イベント」神田明神

環境及び社会貢献活動の紹介（蓼科工場）



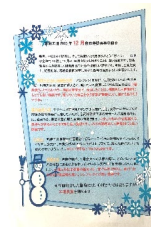
隣接する
笹離宮の整備



地域の清掃活
動への参加



地域イベント
「玉川ケヤキフェ
ス」参加



改善提案事例紹介

- ・工場の改善活動
- ・信州スマートムーブ通勤ウィーク参加（エコドライブ部門）
- ・ながの再配達削減キャンペーン参加
- ・工場倉庫天井の水銀灯2基をLEDに交換
- ・工業公園内清掃活動参加（春と秋）
- ・玉川ケヤキフェス参加（工場のある玉川地区のコミュニティ祭り）

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
容器包装リサイクル法	容器包装資材の再資源化
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
騒音規制法	空気圧縮機の設置
振動規制法	空気圧縮機の設置
水質汚濁法	除外設備の設置
浄化槽法	浄化槽の使用
下水道法	除害施設の設置
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫の設置
顧客要求事項	環境管理、品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

2023年4月1日～2024年3月31日まで苦情要望等はありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年6月3日

第13期は「事業計画2025改訂版」に基づき、「環境経営方針に基づく、事業計画の実現」「製販の生産性20%向上」「教育理念の実現」に取り組んだ。特にチャレンジ2023として「ササヘルス製造プロセス改革」「教育理念の実現による生産性20%向上」「働きがいのある、儲かる会社の実現」「2023年度営業利益1500万円以上確保」を重点的に進めた。

しかしながら2023年度売上は目標にわずかに届かなかった。緑健会営業モデル転換として訪問営業を実施しない月を設定し、Webを活用した勉強会やSNSの活用を進めているが、売上が減少している店舗へのフォロー不足など、モデル転換が道半ばであることが要因と考えられる。売上目標には届かなかったものの達成率は97.0%と増加しており、目標達成に向けた兆しと言える。

また、売り上げ目標は未達ではあったが、大幅な販管費の削減が実施され、利益体質の改善があったので、この点を評価して2024年度の社員基本給を平均5%アップすることを決めた。

緑健会では会員店数目標918店に対し、実績は870店であり達成率94.7%。新規入会店数は昨年32店に対し41店と増加しており、目標達成までもう1歩のところまでできている。新規入会店の売上は順調に推移しており、今後に期待できる。

環境に関して、2022年に発生した下水排水基準値超過（pH）等の事例は発生せず、その他の外部からの苦情や指摘も無く、環境関連法規は遵守されている。

EA21とSDGsを統合させた「SDGs推進委員会」では生産性を数値管理する「計算ツール」を取り入れ、各部署の「ヒト」「モノ」「カネ」「時間」の生産性の推移について毎月確認しており、意識向上が進んだことは評価できるが、一部の社員に限られている点が否めない。会社全体を巻き込んだ取組みの推進を望む。昨年に引き続き「わたしのSDGs」として全社員が各自の取組みを発表し、意識向上に寄与している。

生産性：Webを活用した工場見学会やweb商談などインサイドセールスの強化、SNSの活用、ヒトに限定した業務を減らして標準化を進める「マルチタスク」化も進められた。

光熱費：工場では灯油と電気料金は値上がり傾向にあるものの、改善の取り組みにより使用量は低水準を維持。

法規制：適正管理が来ている。

地域活動：工場では所属する上原山林間工業公園企業組合の清掃活動や献血活動に参加。事業本部では10月に神田明神（御茶ノ水）内で開催されたOTC医薬品普及啓発イベントに参加。ブースとプレゼンにて健康情報を発信した。

工場では大小様々な改善活動は各部署で行われ、生産性向上に繋げている。事業本部は訪問に頼らない営業活動を継続させ、経費削減と二酸化炭素の排出量削減に繋げた。会社全体の二酸化炭素の排出量は昨年度比88.5%であった。

大和生物研究所では、エコアクションの目的の環境と経営の両立を目指す3つの基本方針「環境経営方針に基づく、事業計画の実現」「製販の生産性20%向上」「教育理念の実現」は着実に進んでいるものの、まだまだ業績に反映されているとは言えない状況。次年度はチャレンジ2024として製造プロセス改革や教育理念の実現を進める中で営業利益1,500万円を達成し、働き甲斐のある儲かる会社を実現させる。

ブランドコンセプト「Minimal Wellness」を具現化する引き算の健康法（ムダなものを省き本当に必要なものだけを摂り入れる）に合わせて新規市場向けの新商品開発も加速させていく。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり 実績を踏まえて見直すこと
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり